



第1回 親子体験教室を開催しました

「加工用の革があるので使っていただければ」と、町内の方からたくさんの革をいただきました。そこで、3月5日(土)やすらぎ荘別館で、町内の小学生を対象に第1回親子体験教室を開催し28人の方にご参加いただきました。

命の大切さを伝える教育を提供したり、差別と格差のない社会を実現するための人材育成にも取り組んでおられるNPO法人はなぶさ学園の木下英幸さんを講師にお招きし、

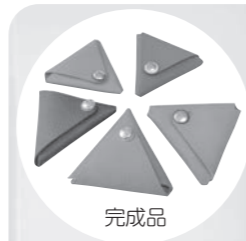
動物の骨や毛皮を見ながら命の大切さ、『いただきます』『ごちそうさまでした』の意味を小さいお子さんにも分かりやすくお話しくださり、参加した皆さんは熱心に耳を傾けていました。

加工用の革で作った小物入れは色彩豊かに完成し皆さんに喜んでいただけました。

参加された方からは、「命の大切さの講話は中々親からは伝えられない話。今回だけで終わらないようまた企画してほしい」との感想をいただきました。今回はコロナ禍のため人数制限を設けて開催しましたが、状況を見ながら継続していきたいと思えます。



木下英幸さん



完成品



令和3年度 赤い羽根共同募金結果報告

募金総額 1,844,608円



戸別募金 1,555,036円

多くの皆さまのご協力を賜り、本当にありがとうございました。大切に活用させていただきます。募金活動にご尽力くださった、自治会、隣組長の皆さまにも、心より感謝申し上げます。

法人事業所募金 221,500円

募金箱設置 18,275円

町内8カ所で募金箱の設置させていただきご協力いただきました。

街頭募金 18,852円

昨年10月にパース様、11月にMEGAドン・キホーテUNY高森店様にて行われました。

職域募金・その他 30,945円



ご協力してくださった皆さま、本当にありがとうございました。

令和3年8月大雨災害義援金 3,054円

長野県共同募金会を通じて、長野県が設置する「令和3年8月大雨災害義援金配分委員会」より被災された方に配分されます。

令和3年度高森町立高森中学校 「卒業生に花を贈ろうプロジェクト」 を行いました

赤い羽根共同募金への理解をいただくパンフレットを添えて、高森中学校卒業生に花束をお届けしました。



3月15日(火)の午前、町内で栽培されたカーネーションを18人のボランティアの皆さんの協力のもと137人の卒業生への花束をつくりました。3色のカーネーションが手作りのラッピングでよりきれいに仕上がりました。

代表のボランティアさんが、これまでの地域貢献への感謝の気持ちを込め学校へ届けてくださいました。

コロナ禍が長期化し終息が見えない状況ではございますが、地域とのつながりを大切にする共同募金の活動をこれからもよろしく願います。



ボランティアのみなさん

「もったいない」を「ありがとう」へ

令和3年度のフードドライブについて

長野県・長野県フードバンク信州活動団体と共にフードドライブを継続して行ってきましたが、新型コロナの影響による休業や失業によって支援が必要な家庭が現在も増加しています。

10月22日からは町内3つのファミリーマート様店舗にて、フードドライブも開始され多くの町民の皆さまにご支援・ご協力をいただいています。

今年度は初めての試みとして、フードパントリーを3回行い継続的な支援につながるような取り組みも始めたところです。8月22日60人・12月11日20人・1月22日28世帯の方がお見えになりました。今後も必要な支援を継続していきたいと思えます。

フードドライブは継続して行っています。お米・缶詰・レトルト食品・カップ麺などの常温で保存ができ賞味期限が1カ月以上ある未開封のもののお寄付をお願いします。



寄附・寄贈 令和3年3月18日～令和4年3月18日

高森町老人クラブ連合会 様	116,984円	匿名 様	3,000円
飯田下伊那理容師会 様	10,000円	匿名 様	加工用革・レク用品など
匿名 様	30,000円		また、コロナ禍において多くのお米・りんごなど
匿名 様	815円		料品のご支援をいただきありがとうございました。



高森町社会福祉協議会

電話：34-3717 FAX：35-9589
Eメール：t-shaso1@blue.ocn.ne.jp

